

# 女性の視点から町政に語りかける



今回出席された女性模擬議員の皆さん

生活を取り巻く問題に敏感な女性が、模擬議員として町政に対して質疑する「長島町女性模擬議会」が11月9日、町議会議場で開催されました。町内の15人の女性が参加し、まちづくりへの意見や要望について、町執行部と質疑応答を繰り広げました。

これまで公の場に参画する機会の少なかつた女性に対し、町政への参画の機会を提供し、まちづくりに女性の視点を生かすことを目的に、「長島町女性模擬議会」が開かれました。

出席した女性模擬議員は、一般公募と各種団体から推薦を受けた計15人で、町当局に対し、農業振興や高齢者支援、環境美化など町政全般にわたり、女性ならではの視点から一般質問を行いました。

本会議前の開会行事では、模擬議員に委嘱状が交付され、出席者は真剣な面持ちで委嘱状を受け取っていました。

本会議では、清原郁美模擬議会議長の開会宣言の後、川添健町長が「この会を経験することで、町政に対する関心を高め、政策や方針決定への一層の参画を推進していきたい」とあいさつ。続いて、会議録署名議員の指名、会期を決定して、8人の模擬議員からそれぞれの分野ごとに一般質問が行われました。

女性模擬議員から出された一般質問と、それに対する答弁の一部を紹介します。

**脇田恵子 模擬議員** 国の政策で、今後は認定農家や担い手集団営農支援策が取られています。これまで農業を支えて来られた小規模農家の支援について伺いたい。

後継者育成や農業振興・自給率を高めるために農業専門職員を配置し、指導育成する考えはないか。多くの女性が参加できる地域レベルの男女共同参画はないか。

農業や科学肥料でやせてしまった土壌を健全な土壌にかえすため、微生物を利用した実験区に対して補助の考え、政策はないか。子どもから団塊の世代までが参加し、学べる安心安全な野菜作りを体験できる場所の確保、家庭からは一坪菜園推進運動などの企画、生涯学習に取り組んでほしい。

平成20年度から始まる「小学生子ども農山漁村プロジェクト」教室効果と同時に地域の活性化に町としても積極的に取り組み、都会の子どもたちと交流しながら農山漁村の食の大切さを知り、共に生きる力を養ってほしい。

**町長** 農業後継者支援については、本町では高齢化の進展、他産業への流出、集落機能の低下など後継者の果たす役割はますます重要となつてきている。町としてもいろいろな施策を考え実施している。

後継者育成のための職員の配置については、私も同じ思いである。平成18年度にはバイオ技術を習得する職員を、平成19年度にはさらに園芸専門の職員を募集、採用の予定である。政策立案の段階から総合的な農家支援の視点で、後継者の相談相手となりえるような職員の配置を計画している。

男女共同参画については、女性の声を聴く101の会、女性模擬議会を通じて幅広く男女共同参画をお願いしている。平等な立場で行政に参画、企画し、実行の段階まで責任を分担し合う、真の男女共同参画の行政を実現することが理想だと考えている。

農業環境改善の食の安全については、農産物の価格競争と品質競争が比較される時代ではないだろうか。農地保全の見地から微生物を使ったほかし肥料づくりや有機質主体の土壌改良など、安心安全な野菜づくりが求められる時代だと思っている。今後も切磋琢磨しながら、研究